佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀市大和町大字久留間3865番地1 団 体 名 特定非営利活動法人 かわかみ・絆の会 代表者名 理事長 松﨑逸夫

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による 寄附金活用実績報告書

2020 (令和2) 年5月5日付け県協第262号及び、2021 (令和3)年2月4日付け県協第2069号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金(「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」)による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書(様式第6号 別紙1)
- 2 収支決算書(様式第6号 別紙2)

## 年度寄附金活用実績報告書

事 業 名	高齢者・障がい者無償移送及び生活支援サービス
寄附受入額	金 3, 550, 000 円

事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)

- 1. 高齢者・障がい者無償移送及び生活支援サービス
- ■期間:2020 年4 月1 日~2021 年3 月31 日
- ■場所(事業管内):佐賀市大和町川上校区及び春日地区
- ■利用(被益)者:同校区内の高齢者及び障がい者
- ■事業の要旨:
- ・ 交通困難地域の高齢者や障がい者等がこれまで同様の生活を維持できるよう、地域住民からの賛助会費等寄附金を基本とし、移動支援の確保及び生活支援に係る無償サービスを展開した。
- 6割を超えるニーズとして、高齢者の病院受診の補助的な役割を果たし自立した生活を支援した。
- ・ 本年度においては、生活支援の増加が見込まれるため、地域包括ケアとの連携強化によ
- り、さらに掘り下げた活動を推進し、高齢の住民のニーズを聞き取り包括支援センターと連携を とり課題の解決に努めた。。
- ・ 利用者のニーズを受け、大和町内においてサービス範囲の拡大をはかり、一部の春日地区の高齢者への支援を拡大提供した。
- □実利用者もコロナ拡大の影響を受けた上期を除くと、下期においては月間 300 名を超える利用がありそのニーズの大きさを実感した。

## 事業実施の成果・効果(見込み)

- ・ 利用者が、これまでの生活に近い環境の中で自立した生活を確保でき、QOL の向上が見込まれる。
- ・ サービス範囲の拡大等を踏まえ、利用者数が前年度比 20%増となる見込み。(2020 年度 実績:120 名以上、月間利用者合計は3月期において300名を超えた)
- ・ 移動手段の確保により、運転を諦めることのデメリットを軽減でき、利用者の 1 割が運 転免許証の返納することが期待され、高齢者による交通事故発生の回避に貢献した。
- ・ 大和町圏域のニーズに応えることにより、より多くの移動困難者に対するケアを充実させることができることが見込まれる。

## 収 支 決 算 書

事業名		高齢者・障がい者無償移送及び生活支援サービス		
区分		決算額 (円)	備  考	
	佐賀県ふるさと寄附金		3, 550, 000	第1回交付: 332,500円
				第 2 回交付: 3, 217, 500 円
収	前期繰越金		3, 788, 319	
入				
		収入 計	7, 338, 319	
支出	通信運搬費		36, 024	お礼状等の発送費
	旅費・担当費用弁償		130, 000	担当者の移動等の費用
	広告宣伝費		100, 000	ホームページ更新料・会報作成
	消耗品費		54, 720	封筒等の印刷物
	車両等の使用料・賃借料		282, 112	移送サービスのかかる年間費用
	協力ボラ	ンティアへの謝金等	1, 466, 000	移送ボランティアの謝金計上
	次期繰越	金	3, 788, 319	繰越金
	返礼品等の調達に係る費用		1, 028, 181	3,000 × 355 ≒ 1,065,000
	返礼品等の送付に係る費用		435, 063	355 <b>×</b> 1, 100≒400, 000
	広報に係	る費用	17, 900	ふるさと納税等のパンフレット
	事	務に係る費用	0	
			7, 338, 319	

<sup>○</sup>支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。 経理上の区分名で記載して構いません。

<sup>○</sup>領収書等は事業終了後5年間保存してください。